

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English D		
英文授業科目名	English D		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	深澤 はるか(学内連絡教官 奥 浩昭)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
「自分で考え、自らの考えを明確に言語化し、発表する」能力は、最先端の科学技術を学ぶ者にとって必要不可欠である。本授業は、そのための基礎力養成として、English Aにおいて習得した内容を土台として、テーマに即して自らの意見を論理的に発表する力を養うことを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
English A

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
(1) Identity By Joseph Shaules, Hiroko Tsujioka, Miyuki Iida Oxford University Press (2) 教官からの配布教材

【授業内容とその進め方】
教科書の内容に照らして、Politeness, Communication Styles, Gender and Culture, Diversity, Social Change, Global Communityなど、各授業、1テーマずつ扱う。それぞれのテーマに即して各自の意見を口頭発表し、また、聴き取る練習を行う。また、追加教材も随時配布し、それについても同様の練習を行う。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価方法 2回の定期試験、提出課題、授業参加度をもとに総合的に成績を評価する。毎回の授業は次の授業への土台となるため、授業参加度の成績評価を得るためには、全授業出席が原則となる。以下の配分で成績は評価する。中間試験：20%提出課題：20%授業参加度：30%学期末試験：30%評価基準(1) テーマに即し、自らの意見が論理的に述べられるか。(2) テーマに関する内容を的確に聴き取ることができるか。

【オフィスアワー：授業相談】

質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

このシラバスに加え、第一回目の授業で、さらに詳しい授業計画を配布、説明するので、必ず出席すること。

【その他】